

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	無期限（2006年8月25日設定）	
運用方針	<p>マザーファンド受益証券への投資を通じて、外国の債券に投資し、安定した収益の確保と信託財産の着実な成長をめざして運用を行います。アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。</p> <p>アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。</p> <p>アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。</p> <p>投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。</p> <p>ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。</p> <p>マザーファンド受益証券の組入比率は高位を維持することを基本とします。</p> <p>実質的な組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>	
主要運用対象	ベビーフンド	グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券を主要投資対象とします。このほか、当ファンドで直接投資することがあります。
	マザーファンド	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	ベビーフンド	外貨建資産への実質投資割合に制限を設けません。
	マザーファンド	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。
分配方針	経費等控除後の配当等収益および売買益（評価益を含みます。）等の全額を分配対象額とし、分配金額は、基準価額水準、市況動向等を勘案して委託会社が決定します。原則として、配当等収益や分配対象額の水準等を考慮し、安定した分配を継続することをめざします。ただし、分配対象収益が少額の場合には分配を行わないことがあります。また、基準価額水準、運用状況等によっては安定した分配とならないことがあります。	

運用報告書（全体版）

グローバル・ボンド・
ニューマーケット
（毎月決算型）

愛称：星こよみ



第202期（決算日：2023年8月24日）
 第203期（決算日：2023年9月25日）
 第204期（決算日：2023年10月24日）
 第205期（決算日：2023年11月24日）
 第206期（決算日：2023年12月25日）
 第207期（決算日：2024年1月24日）



受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り厚く御礼申し上げます。さて、お手持ちの「グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）」は、去る1月24日に第207期の決算を行いましたので、法令に基づいて第202期～第207期の運用状況をまとめてご報告申し上げます。今後とも引き続きお引き立て賜りますようお願い申し上げます。



三菱UFJアセットマネジメント

東京都港区東新橋一丁目9番1号
 ホームページ <https://www.am.mufg.jp/>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

お客さま専用
フリーダイヤル

0120-151034

（受付時間：営業日の9:00～17:00、
土・日・祝日・12月31日～1月3日を除く）

お客さまのお取引内容につきましては、お取扱いの販売会社にお尋ねください。

本資料の表記にあたって

- ・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。
- ・一印は組入れまたは売買がないことを示しています。

○最近30期の運用実績

決 算 期	基 (分配落)	準 価 額			債 券 組 入 比 率	債 券 先 物 比 率	純 資 産 総 額	
		税 分	込 配	み 期 金 騰 落				中 率
	円		円		%	%	百万円	
178期(2021年8月24日)	3,770		10		△1.0	97.7	—	3,808
179期(2021年9月24日)	3,785		10		0.7	97.6	—	3,767
180期(2021年10月25日)	3,861		10		2.3	97.3	—	3,782
181期(2021年11月24日)	3,805		10		△1.2	96.7	—	3,694
182期(2021年12月24日)	3,798		10		0.1	97.0	—	3,652
183期(2022年1月24日)	3,666		10		△3.2	95.4	—	3,508
184期(2022年2月24日)	3,586		10		△1.9	97.4	—	3,413
185期(2022年3月24日)	3,299		10		△7.7	96.7	—	3,108
186期(2022年4月25日)	3,375		10		2.6	97.4	—	3,124
187期(2022年5月24日)	3,343		10		△0.7	97.0	—	3,074
188期(2022年6月24日)	3,477		5		4.2	96.6	—	3,171
189期(2022年7月25日)	3,505		5		0.9	96.9	—	3,188
190期(2022年8月24日)	3,516		5		0.5	97.4	—	3,178
191期(2022年9月26日)	3,576		5		1.8	97.2	—	3,196
192期(2022年10月24日)	3,562		5		△0.3	97.5	—	3,168
193期(2022年11月24日)	3,616		5		1.7	97.5	—	3,192
194期(2022年12月26日)	3,558		5		△1.5	96.6	—	3,112
195期(2023年1月24日)	3,652		5		2.8	97.0	—	3,179
196期(2023年2月24日)	3,651		5		0.1	96.7	—	3,158
197期(2023年3月24日)	3,629		5		△0.5	97.2	—	3,121
198期(2023年4月24日)	3,808		5		5.1	96.4	—	3,235
199期(2023年5月24日)	3,918		5		3.0	96.4	—	3,304
200期(2023年6月26日)	4,144		5		5.9	97.9	—	3,435
201期(2023年7月24日)	4,179		5		1.0	98.3	—	3,411
202期(2023年8月24日)	4,202		5		0.7	97.2	—	3,395
203期(2023年9月25日)	4,182		5		△0.4	98.0	—	3,344
204期(2023年10月24日)	4,136		5		△1.0	97.5	—	3,262
205期(2023年11月24日)	4,351		5		5.3	96.7	—	3,395
206期(2023年12月25日)	4,263		5		△1.9	96.8	—	3,288
207期(2024年1月24日)	4,343		5		2.0	96.4	—	3,307

(注) 基準価額の騰落率は分配金込み。

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当作成期中の基準価額と市況等の推移

決 算 期	年 月 日	基 準 価 額	騰 落 率		債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
			騰 落 率	率			
第202期	(期 首) 2023年 7月24日	円 4,179		% —	% 98.3		% —
	7月末	4,176	△0.1		96.4		—
	(期 末) 2023年 8月24日	4,207	0.7		97.2		—
第203期	(期 首) 2023年 8月24日	4,202		—	97.2		—
	8月末	4,261	1.4		97.2		—
	(期 末) 2023年 9月25日	4,187	△0.4		98.0		—
第204期	(期 首) 2023年 9月25日	4,182		—	98.0		—
	9月末	4,143	△0.9		98.1		—
	(期 末) 2023年10月24日	4,141	△1.0		97.5		—
第205期	(期 首) 2023年10月24日	4,136		—	97.5		—
	10月末	4,143	0.2		97.5		—
	(期 末) 2023年11月24日	4,356	5.3		96.7		—
第206期	(期 首) 2023年11月24日	4,351		—	96.7		—
	11月末	4,318	△0.8		96.8		—
	(期 末) 2023年12月25日	4,268	△1.9		96.8		—
第207期	(期 首) 2023年12月25日	4,263		—	96.8		—
	12月末	4,273	0.2		97.0		—
	(期 末) 2024年 1月24日	4,348	2.0		96.4		—

(注) 期末基準価額は分配金込み、騰落率は期首比。

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」、「債券先物比率」は実質比率を記載しております。

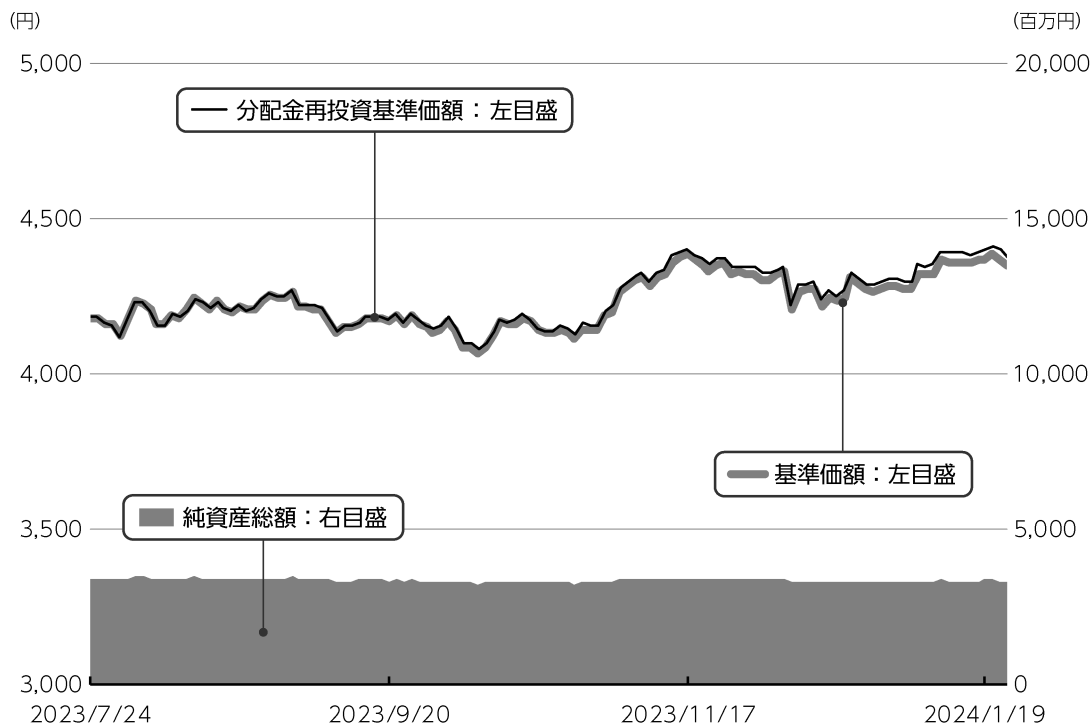
(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

運用経過

第202期～第207期：2023年7月25日～2024年1月24日

▶ 当作成期中の基準価額等の推移について

基準価額等の推移



第202期首	4,179円
第207期末	4,343円
既払分配金	30円
騰落率	4.7%
	(分配金再投資ベース)

※分配金再投資基準価額は、分配金が支払われた場合、収益分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンドの運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。

※実際のファンドにおいては、分配金を再投資するかどうかについては、受益者のみなさまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、各個人の受益者のみなさまの損益の状況を示すものではない点にご留意ください。

基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ4.7%（分配金再投資ベース）の上昇となりました。

基準価額の主な変動要因

上昇要因

債券の利子収益を享受したことや、すべての投資国通貨が対円で上昇したことなどが、上昇要因となりました。

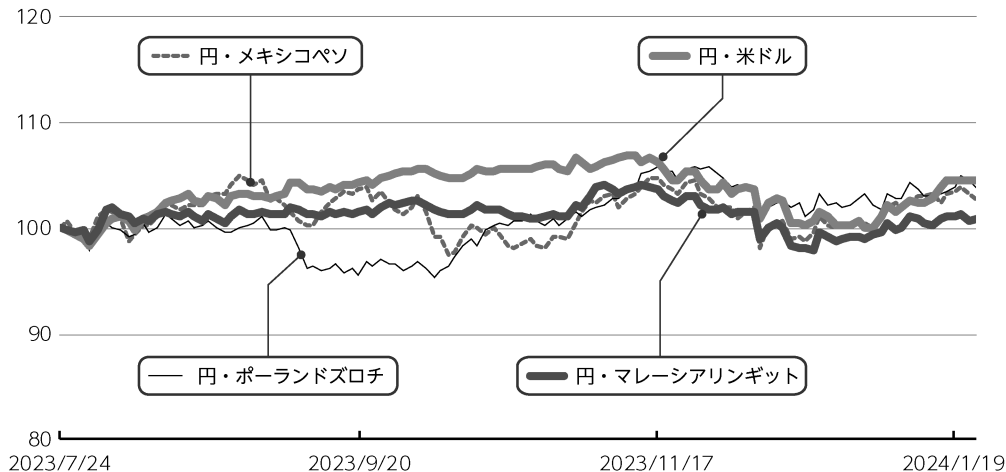
下落要因

メキシコの金利が上昇したことなどが、下落要因となりました。

第202期～第207期：2023年7月25日～2024年1月24日

投資環境について

為替市況の推移（当作成期首を100として指数化、対円）



▶ 債券市況

長期金利は米国やメキシコで上昇、ポーランドで低下、マレーシアで概ね横ばいとなりました。

米国経済が底堅く推移したことなどが投資国の長期金利の上昇要因となった一方、主要先進国でインフレの減速が見られたことや、2023年12月の米連邦公開市場委員会（FOMC）後の記者会見で、利下げ議論が開始されたと明らかになったことなどが低下要因となりました。結果、長期金利は米国やメキシコで上昇、ポー

ランドで低下、マレーシアで概ね横ばいとなりました。

▶ 為替市況

すべての投資国通貨は対円で上昇しました。

主要先進国や投資国の政策金利が相対的に高い水準である一方、日銀が緩和的な金融政策を維持し、金融政策の格差が意識されたことなどから、すべての投資国通貨は対円で上昇しました。

▶ 当該投資信託のポートフォリオについて

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券への投資を通じて、アッパーミドル諸国の公社債を中心に投資をしました。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。

投資国は、期間を通じて、米国・メキシコ・ポーランド・マレーシアの4カ国となりました。

▶ 当該投資信託のベンチマークとの差異について

当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。従って、ベンチマークおよび参考指数との対比は表記できません。

分配金について

収益分配金につきましては、基準価額水準、市況動向、分配対象額の水準等を勘案し、次表の通りとさせていただきます。収益分配に充てなかった利益（留保益）につきましては、信託財産中に留保し、運用の基本方針に基づいて運用します。

分配原資の内訳

（単位：円、1万口当たり、税込み）

項目	第202期 2023年7月25日～ 2023年8月24日	第203期 2023年8月25日～ 2023年9月25日	第204期 2023年9月26日～ 2023年10月24日	第205期 2023年10月25日～ 2023年11月24日	第206期 2023年11月25日～ 2023年12月25日	第207期 2023年12月26日～ 2024年1月24日
当期分配金 （対基準価額比率）	5 (0.119%)	5 (0.119%)	5 (0.121%)	5 (0.115%)	5 (0.117%)	5 (0.115%)
当期の収益	5	5	5	5	5	5
当期の収益以外	—	—	—	—	—	—
翌期繰越分配対象額	305	315	323	336	345	358

（注）対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

（注）当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

今後の運用方針 （作成対象期間末での見解です。）

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド受益証券の組入比率を高位とする方針です。

▶ グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得

をめざします。

アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。

アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

2023年7月25日～2024年1月24日

1万口当たりの費用明細

項目	第202期～第207期		項目の概要
	金額 (円)	比率 (%)	
(a) 信託報酬	26	0.608	(a) 信託報酬 = 作成期中の平均基準価額 × 信託報酬率 × (作成期中の日数 ÷ 年間日数)
（投信会社）	(13)	(0.304)	ファンドの運用・調査、受託会社への運用指図、基準価額の算出、目論見書等の作成等の対価
（販売会社）	(12)	(0.276)	交付運用報告書等各種書類の送付、顧客口座の管理、購入後の情報提供等の対価
（受託会社）	(1)	(0.028)	ファンドの財産の保管および管理、委託会社からの運用指図の実行等の対価
(b) その他費用	2	0.036	(b) その他費用 = 作成期中のその他費用 ÷ 作成期中の平均受益権口数
（保管費用）	(1)	(0.034)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
（監査費用）	(0)	(0.002)	ファンドの決算時等に監査法人から監査を受けるための費用
（その他）	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合計	28	0.644	

作成期中の平均基準価額は、4,232円です。

(注) 作成期間の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

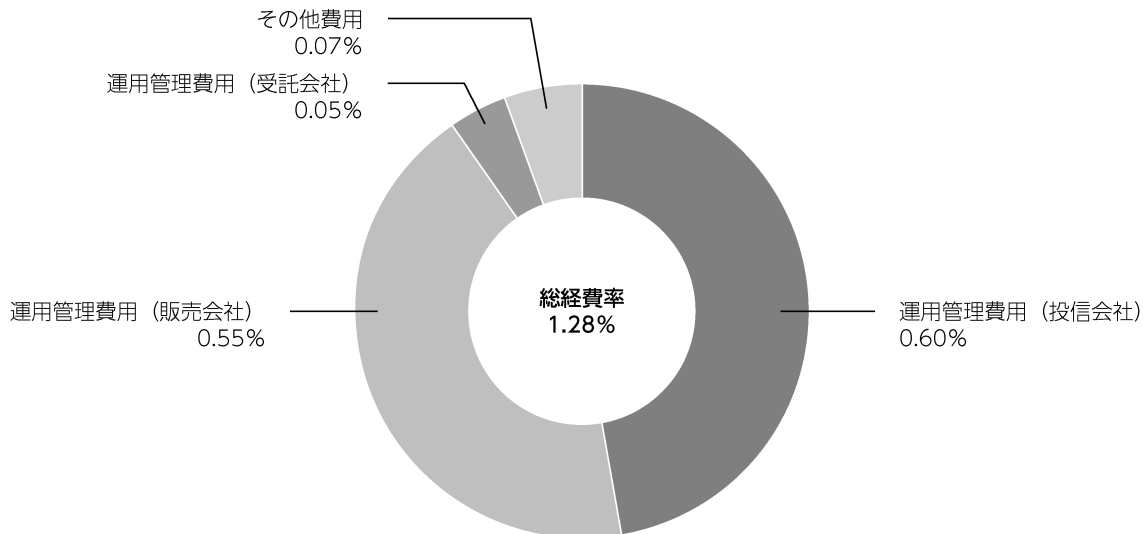
(注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を作成期間の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

（参考情報）

■ 総経費率

当作成対象期間の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を除く。）を作成期中の平均受益権口数に作成期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した**総経費率（年率）は1.28%**です。



(注) 費用は、1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料及び有価証券取引税を含みません。

(注) 各比率は、年率換算した値です。

(注) 前記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

（2023年7月25日～2024年1月24日）

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘 柄	第202期～第207期			
	設 定		解 約	
	口 数	金 額	口 数	金 額
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千口 6,227	千円 9,480	千口 187,461	千円 286,172

○利害関係人との取引状況等

（2023年7月25日～2024年1月24日）

利害関係人との取引状況

<グローバル・ボンド・ニューマーケット（毎月決算型）>

該当事項はございません。

<グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド>

区 分	第202期～第207期					
	買付額等 A			売付額等 C		
	うち利害関係人 との取引状況B	B A	うち利害関係人 との取引状況D	D C		
為替直物取引	百万円 8	百万円 —	% —	百万円 318	百万円 66	% 20.8

平均保有割合 100.0%

※平均保有割合とは、親投資信託の残存口数の合計に対する当該ベビーファンドの親投資信託所有口数の割合。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

（2024年1月24日現在）

親投資信託残高

銘 柄	第201期末		第207期末	
	口 数	評 価 額	口 数	評 価 額
	千口	千円	千口	千円
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	2,272,608	2,091,374	3,298,934	

○投資信託財産の構成

（2024年1月24日現在）

項 目	第207期末	
	評 価 額	比 率
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド	千円 3,298,934	% 99.1
コール・ローン等、その他	28,993	0.9
投資信託財産総額	3,327,927	100.0

(注) グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンドにおいて、作成期末における外貨建純資産（3,298,843千円）の投資信託財産総額（3,316,943千円）に対する比率は99.5%です。

(注) 外貨建資産は、作成期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、作成期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=148.17円	1 メキシコペソ=8.5639円	1 ホーランドズロチ=36.6548円	1 マレーシアリングgit=31.3235円
------------------	------------------	---------------------	------------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

項 目	第202期末	第203期末	第204期末	第205期末	第206期末	第207期末
	2023年8月24日現在	2023年9月25日現在	2023年10月24日現在	2023年11月24日現在	2023年12月25日現在	2024年1月24日現在
	円	円	円	円	円	円
(A) 資産	3,406,187,831	3,354,768,312	3,272,991,124	3,404,820,133	3,300,323,276	3,327,927,035
コール・ローン等	11,340,491	11,286,887	10,757,973	14,807,001	10,936,765	10,983,958
グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド(附録)	3,387,415,877	3,336,601,816	3,254,933,669	3,387,634,987	3,280,659,736	3,298,934,699
未収入金	7,431,463	6,879,609	7,299,482	2,378,145	8,726,775	18,008,378
(B) 負債	10,490,143	10,222,642	10,363,255	9,038,158	11,832,942	20,866,707
未払収益分配金	4,040,293	3,998,993	3,944,288	3,902,620	3,856,833	3,807,258
未払解約金	2,951,527	2,643,242	3,260,520	1,700,242	4,551,137	13,757,051
未払信託報酬	3,485,002	3,566,784	3,146,439	3,422,237	3,411,953	3,289,840
未払利息	25	15	4	5	3	4
その他未払費用	13,296	13,608	12,004	13,054	13,016	12,554
(C) 純資産総額(A-B)	3,395,697,688	3,344,545,670	3,262,627,869	3,395,781,975	3,288,490,334	3,307,060,328
元本	8,080,587,432	7,997,987,902	7,888,576,189	7,805,241,168	7,713,667,023	7,614,516,312
次期繰越損益金	△4,684,889,744	△4,653,442,232	△4,625,948,320	△4,409,459,193	△4,425,176,689	△4,307,455,984
(D) 受益権総口数	8,080,587,432口	7,997,987,902口	7,888,576,189口	7,805,241,168口	7,713,667,023口	7,614,516,312口
1万円当たり基準価額(C/D)	4,202円	4,182円	4,136円	4,351円	4,263円	4,343円

○損益の状況

項 目	第202期	第203期	第204期	第205期	第206期	第207期
	2023年7月25日～ 2023年8月24日	2023年8月25日～ 2023年9月25日	2023年9月26日～ 2023年10月24日	2023年10月25日～ 2023年11月24日	2023年11月25日～ 2023年12月25日	2023年12月26日～ 2024年1月24日
	円	円	円	円	円	円
(A) 配当等収益	△ 758	△ 506	△ 187	△ 113	△ 81	△ 131
受取利息	1	14	25	1	2	—
支払利息	△ 759	△ 520	△ 212	△ 114	△ 83	△ 131
(B) 有価証券売買損益	26,271,477	△ 8,863,512	△ 29,061,563	174,461,907	△ 60,169,180	67,948,235
売買益	26,687,208	213,305	468,888	176,223,665	686,824	68,642,040
売買損	△ 415,731	△ 9,076,817	△ 29,530,451	△ 1,761,758	△ 60,856,004	△ 693,805
(C) 信託報酬等	△ 3,498,298	△ 3,580,392	△ 3,158,443	△ 3,435,291	△ 3,424,969	△ 3,302,394
(D) 当期繰越損益 (A+B+C)	22,772,421	△ 12,444,410	△ 32,220,193	171,026,503	△ 63,594,230	64,645,710
(E) 前期繰越損益	△3,256,452,298	△3,202,991,504	△3,174,612,513	△3,167,246,240	△2,964,217,915	△2,991,938,511
(F) 追加信託差損益	△1,447,168,574	△1,434,007,325	△1,415,171,326	△1,409,336,836	△1,393,507,711	△1,376,355,925
(配当等相当額)	(99,930,636)	(99,040,136)	(97,726,541)	(97,166,534)	(96,097,194)	(94,905,629)
(売買損益相当額)	(△1,547,099,210)	(△1,533,047,461)	(△1,512,897,867)	(△1,506,503,370)	(△1,489,604,905)	(△1,471,261,554)
(G) 計 (D+E+F)	△4,680,849,451	△4,649,443,239	△4,622,004,032	△4,405,556,573	△4,421,319,856	△4,303,648,726
(H) 収益分配金	△ 4,040,293	△ 3,998,993	△ 3,944,288	△ 3,902,620	△ 3,856,833	△ 3,807,258
次期繰越損益 (G+H)	△4,684,889,744	△4,653,442,232	△4,625,948,320	△4,409,459,193	△4,425,176,689	△4,307,455,984
追加信託差損益	△1,447,168,574	△1,434,007,325	△1,415,171,326	△1,409,336,836	△1,393,507,711	△1,376,355,925
(配当等相当額)	(99,987,968)	(99,044,259)	(97,727,104)	(97,198,590)	(96,097,967)	(94,906,364)
(売買損益相当額)	(△1,547,156,542)	(△1,533,051,584)	(△1,512,898,430)	(△1,506,535,426)	(△1,489,605,678)	(△1,471,262,289)
分配準備積立金	147,079,167	153,404,488	157,611,191	165,766,264	170,793,382	177,789,015
繰越損益	△3,384,800,337	△3,372,839,395	△3,368,388,185	△3,165,888,621	△3,202,462,360	△3,108,889,074

(注) (B) 有価証券売買損益は各期末の評価換えによるものを含みます。

(注) (C) 信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。

(注) (F) 追加信託差損益とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

<注記事項>

① 作成期首（前作成期末）元本額 8,164,382,519円
 作成期中追加設定元本額 75,427,077円
 作成期中一部解約元本額 625,293,284円
 また、1口当たり純資産額は、作成期末0.4343円です。

② 純資産総額が元本額を下回っており、その差額は4,307,455,984円です。

③ 分配金の計算過程

項 目	2023年7月25日～ 2023年8月24日	2023年8月25日～ 2023年9月25日	2023年9月26日～ 2023年10月24日	2023年10月25日～ 2023年11月24日	2023年11月25日～ 2023年12月25日	2023年12月26日～ 2024年1月24日
費用控除後の配当等収益額	12,828,251円	11,901,973円	10,286,755円	14,194,537円	10,867,788円	13,041,164円
費用控除後・繰越欠損金補填後の有価証券売買等損益額	—円	—円	—円	—円	—円	—円
収益調整金額	99,987,968円	99,044,259円	97,727,104円	97,198,590円	96,097,967円	94,906,364円
分配準備積立金額	138,291,209円	145,501,508円	151,268,724円	155,474,347円	163,782,427円	168,555,109円
当ファンドの分配対象収益額	251,107,428円	256,447,740円	259,282,583円	266,867,474円	270,748,182円	276,502,637円
1万口当たり収益分配対象額	310円	320円	328円	341円	350円	363円
1万口当たり分配金額	5円	5円	5円	5円	5円	5円
収益分配金金額	4,040,293円	3,998,993円	3,944,288円	3,902,620円	3,856,833円	3,807,258円

○分配金のお知らせ

	第202期	第203期	第204期	第205期	第206期	第207期
1 万口当たり分配金（税込み）	5円	5円	5円	5円	5円	5円

- ・分配金は、分配後の基準価額と個々の受益者の個別元本との差により、課税扱いとなる「普通分配金」と、非課税扱いとなる「元本払戻金（特別分配金）」に分かれます。
- ・分配後の基準価額が個別元本と同額または上回る場合は、全額が普通分配金となります。分配後の基準価額が個別元本を下回る場合には、下回る部分の額が元本払戻金（特別分配金）となり、残りの額が普通分配金となります。
- ・元本払戻金（特別分配金）が発生した場合は、分配金発生時に個々の受益者の個別元本から当該元本払戻金（特別分配金）を控除した額が、その後の個々の受益者の個別元本となります。

*三菱UFJアセットマネジメントでは本資料のほかに当ファンドに関する情報等の開示を行っている場合があります。詳しくは、取り扱い販売会社にお問い合わせいただくか、当社ホームページ（<https://www.am.mufg.jp/>）をご覧ください。

【お 知 ら せ】

委託会社の商号変更に対応するため、信託約款に所要の変更を行いました。
2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更しました。
(2023年10月1日)

グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド

《第17期》決算日2023年7月24日

[計算期間：2022年7月26日～2023年7月24日]

「グローバル・ボンド・ニューマーケット・マザーファンド」は、7月24日に第17期の決算を行いました。
以下、法令・諸規則に基づき、当マザーファンドの第17期の運用状況をご報告申し上げます。

運用方針	<p>アッパーミドル諸国の政府等または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し安定した利子収益の獲得をめざします。当ファンドにおいて「アッパーミドル諸国」とは、先進国と新興国の中間領域に位置する国として委託会社が判断した国とします。アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。投資対象とする債券は、当該国通貨建ての国債、政府保証債、政府機関債、地方債および国際機関債とします。ポートフォリオの流動性等を補完するため米国国債に投資することとし、信託財産の10～20%程度を基本資産配分とします。組入外貨建資産については、原則として為替ヘッジを行いません。</p>
主要運用対象	外国の債券を主要投資対象とします。
主な組入制限	外貨建資産への投資割合に制限を設けません。

○最近5期の運用実績

決算期	基準	価額		債組入比率	債券先物比率	純資産総額
		期騰落	中率			
	円		%	%	%	百万円
13期(2019年7月24日)	12,775		4.3	94.8	—	5,419
14期(2020年7月27日)	11,930	△	6.6	98.1	—	4,443
15期(2021年7月26日)	12,748		6.9	97.4	—	3,895
16期(2022年7月25日)	12,208	△	4.2	97.1	—	3,181
17期(2023年7月24日)	14,978		22.7	98.5	—	3,403

(注) 当ファンドの値動きを表す適切な指数が存在しないため、ベンチマーク等はありません。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準 価 額 騰 落 率	債 組 入 比 率	債 先 物 比 率	券 率
(期 首) 2022年 7 月25日	円 12,208	% —	% 97.1	% —
7 月末	12,183	△ 0.2	97.3	—
8 月末	12,466	2.1	98.0	—
9 月末	12,375	1.4	97.6	—
10 月末	12,714	4.1	97.8	—
11 月末	12,788	4.8	97.8	—
12 月末	12,506	2.4	96.8	—
2023年 1 月末	12,943	6.0	97.3	—
2 月末	13,127	7.5	97.0	—
3 月末	13,327	9.2	97.5	—
4 月末	13,627	11.6	96.9	—
5 月末	14,096	15.5	97.2	—
6 月末	14,966	22.6	98.3	—
(期 末) 2023年 7 月24日	14,978	22.7	98.5	—

(注) 騰落率は期首比。

(注) 「債券先物比率」は買建比率－売建比率。

○運用経過

●当期中の基準価額等の推移について

◎基準価額の動き

基準価額は期間の初めに比べ22.7%の上昇となりました。

基準価額等の推移



●基準価額の主な変動要因

(上昇要因)

債券の利子収益を享受したことや、すべての投資国通貨が対円で上昇したことなどが、基準価額の上昇要因となりました。

(下落要因)

米国金利が上昇したことなどが、基準価額の下落要因となりました。

●投資環境について

◎債券市況

- ・長期金利は米国を除く投資国で低下しました。
- ・米国をはじめ主要先進国の景気が底堅く推移し、米連邦準備制度理事会（FRB）の更なる利上げが意識されたことなどから、米国の長期金利は上昇しました。
- ・メキシコ、マレーシア、ポーランドに関しては、

インフレのピークアウトが確認され、中央銀行による利上げの終了や今後の利下げが意識されたことなどから、長期金利は低下しました。

◎為替市況

- ・すべての投資国通貨は対円で上昇しました。
- ・主要先進国や投資国の政策金利が相対的に高い水準である一方、日銀においては、一部政策修正を行ったものの引き続き緩和的な金融政策を維持していることを背景に、金融政策の格差が意識されたことなどから、すべての投資国通貨は対円で上昇しました。

●当該投資信託のポートフォリオについて

- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定し、通貨別資産配分は均等を基本に組み入れました。
- ・投資国は、期間を通じて、米国・メキシコ・ポーランド・マレーシアの4カ国となりました。

○今後の運用方針

- ・アッパーミドル諸国の政府または国際機関等が発行する当該国通貨建ての債券を中心に投資し、安定した利子収益の獲得をめざします。
- ・アッパーミドル諸国の中から、信用格付がA-～A+格相当の国を中心に、債券市場の規模、通貨・投資に係る規制等を勘案のうえ、金利水準が高い国を複数選定します。
- ・アッパーミドル諸国の通貨別資産配分は均等を基本とします。また、ポートフォリオ構築にあたっては、各国毎に当該国の国債市場全体のデュレーションを参考にします。

○1万口当たりの費用明細

(2022年7月26日～2023年7月24日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) そ の 他 費 用	円	%	(a)その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(保 管 費 用)	(8)	(0.063)	有価証券等を海外で保管する場合、海外の保管機関に支払われる費用
(そ の 他)	(0)	(0.000)	信託事務の処理等に要するその他諸費用
合 計	8	0.063	
期中の平均基準価額は、13,160円です。			

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

○売買及び取引の状況

(2022年7月26日～2023年7月24日)

公社債

			買 付 額	売 付 額
外	アメリカ	国債証券	千アメリカドル 98	千アメリカドル -
	メキシコ	国債証券	千メキシコペソ -	千メキシコペソ 12,510
国	ポーランド	国債証券	千ポーランドズロチ -	千ポーランドズロチ 4,465
	マレーシア	国債証券	千マレーシアリングgit 3,588	千マレーシアリングgit 4,367

(注) 金額は受渡代金。(経過利子分は含まれておりません。)

○利害関係人との取引状況等

(2022年7月26日～2023年7月24日)

利害関係人との取引状況

区 分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
		百万円	百万円		%	百万円
為替直物取引	110	57	51.8	563	338	60.0

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三菱UFJ銀行、モルガン・スタンレーMUFJ証券です。

○組入資産の明細

(2023年7月24日現在)

外国公社債

(A) 外国(外貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末							
	額面金額	評 価 額		組入比率	うちBB格以下 組入比率	残存期間別組入比率		
		外貨建金額	邦貨換算金額			5年以上	2年以上	2年未満
アメリカ	千アメリカドル 2,250	千アメリカドル 2,176	千円 308,629	% 9.1	% —	% 3.9	% 2.3	% 2.8
メキシコ	千メキシコペソ 131,300	千メキシコペソ 122,280	1,021,191	30.0	—	13.4	6.5	10.1
ポーランド	千ポーランドズロチ 33,100	千ポーランドズロチ 29,796	1,053,714	31.0	—	6.2	12.9	11.8
マレーシア	千マレーシアリングギット 30,500	千マレーシアリングギット 31,224	969,043	28.5	—	15.8	12.6	—
合 計	—	—	3,352,578	98.5	—	39.5	34.4	24.7

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B) 外国(外貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	銘柄	利率	額面金額	当 期 末		償還年月日
				評 価 額		
				外貨建金額	邦貨換算金額	
アメリカ		%	千アメリカドル	千アメリカドル	千円	
	国債証券	1.75 T-NOTE 240731	700	675	95,772	2024/7/31
		2.25 T-NOTE 270815	600	555	78,853	2027/8/15
		3 T-BOND 420515	300	256	36,398	2042/5/15
		3.375 T-NOTE 330515	100	96	13,652	2033/5/15
		4.5 T-BOND 360215	550	591	83,952	2036/2/15
小	計				308,629	
メキシコ			千メキシコペソ	千メキシコペソ		
	国債証券	5.5 MEXICAN BONOS 270304	30,000	26,517	221,448	2027/3/4
		7.75 MEXICAN BONO 310529	28,000	26,358	220,121	2031/5/29
		8 MEXICAN BONOS 240905	42,300	40,973	342,180	2024/9/5
		8 MEXICAN BONOS 471107	31,000	28,431	237,440	2047/11/7
小	計				1,021,191	
ポーランド			千ポーランドズロチ	千ポーランドズロチ		
	国債証券	0 POLAND 240725	12,000	11,358	401,676	2024/7/25
		1.75 POLAND 320425	8,000	6,007	212,450	2032/4/25
		3.75 POLAND 270525	13,100	12,430	439,587	2027/5/25
小	計				1,053,714	
マレーシア			千マレーシアリンギット	千マレーシアリンギット		
	国債証券	2.632 MALAYSIAGOV 310415	2,500	2,296	71,279	2031/4/15
		3.582 MALAYSIAGOV 320715	2,600	2,538	78,787	2032/7/15
		3.899 MALAYSIAGOV 271116	9,700	9,812	304,526	2027/11/16
		3.955 MALAYSIAGOV 250915	4,000	4,046	125,592	2025/9/15
		4.457 MALAYSIAGOV 530331	1,000	1,045	32,433	2053/3/31
		4.498 MALAYSIAGOV 300415	5,000	5,221	162,057	2030/4/15
		4.893 MALAYSIAGOV 380608	5,700	6,262	194,366	2038/6/8
小	計				969,043	
合	計				3,352,578	

(注) 邦貨換算金額は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。

○投資信託財産の構成

(2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
公社債	3,352,578	98.3
コール・ローン等、その他	59,668	1.7
投資信託財産総額	3,412,246	100.0

(注) 期末における外貨建純資産(3,390,358千円)の投資信託財産総額(3,412,246千円)に対する比率は99.4%です。

(注) 外貨建資産は、期末の時価をわが国の対顧客電信売買相場の仲値により邦貨換算したものです。なお、期末における邦貨換算レートは以下の通りです。

1 アメリカドル=141.83円	1 メキシコペソ=8.3512円	1 ポーランドズロチ=35.3637円	1 マレーシアリンギット=31.0347円
------------------	------------------	---------------------	-----------------------

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2023年7月24日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	3,412,246,037
コール・ローン等	23,339,718
公社債(評価額)	3,352,578,958
未収利息	36,147,573
前払費用	179,788
(B) 負債	8,394,709
未払解約金	8,394,656
未払利息	53
(C) 純資産総額(A-B)	3,403,851,328
元本	2,272,608,639
次期繰越損益金	1,131,242,689
(D) 受益権総口数	2,272,608,639口
1万口当たり基準価額(C/D)	14,978円

<注記事項>

- ①期首元本額 2,605,717,363円
 期中追加設定元本額 7,232,492円
 期中一部解約元本額 340,341,216円
 また、1口当たり純資産額は、期末14,978円です。

- ②期末における元本の内訳(当親投資信託を投資対象とする投資信託ごとの元本額)
 グローバル・ボンド・ニューマーケット(毎月決算型) 2,272,608,639円

[お 知 ら せ]

三菱UFJ国際投信株式会社は、2023年10月1日より商号を三菱UFJアセットマネジメント株式会社に変更します。

○損益の状況 (2022年7月26日～2023年7月24日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	190,124,984
受取利息	190,136,340
支払利息	△ 11,356
(B) 有価証券売買損益	478,860,926
売買益	504,382,069
売買損	△ 25,521,143
(C) 保管費用等	△ 2,029,224
(D) 当期損益金(A+B+C)	666,956,686
(E) 前期繰越損益金	575,422,488
(F) 追加信託差損益金	2,324,305
(G) 解約差損益金	△ 113,460,790
(H) 計(D+E+F+G)	1,131,242,689
次期繰越損益金(H)	1,131,242,689

- (注) (B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
 (注) (F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。
 (注) (G)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。